

令和8年度

徳島市城東中学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 人と誠実に向き合い、共に学び合う授業の実践
- 柔軟に学び続け、深く考える力を育成する授業の実践

校長

佐藤 一郎

学力向上推進員

高橋 佳世

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○授業に真剣に取り組む、ほとんどの生徒が与えられた課題に意欲的に取り組んでいる。</p> <p>●身に付けた知識等を関連付けて課題を捉えたり、自分の考えをまとめたりすることに課題がある。</p>	<p>・基礎的・基本的な知識・技能を身につけるとともに、習得した知識・技能を活用し、資料を正確に読み取ったり自分の考えを表現したりすることができる。</p>	<p>・振り返りのワークシートや小テストを用いて、生徒が学習内容や自分自身の学習の到達度等を把握できるようにする。</p> <p>・パフォーマンス課題やレポート作成を実施し、既習知識を整理しまとめたり、活用したりする場を設ける。</p> <p>・他学年、他教科の教員が相互に授業参観を行う。</p>			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○多くの生徒が自分の考えをもち、表現しようとしていたり、友達の意見をしっかりと聞こうとしていたりしている。</p> <p>●課題に応じて、必要な情報等を収集したり、自分の考えを適切な表現を用いて伝えたりすることに課題がある。</p>	<p>・ペアやグループによる活動に積極的に参加し、自分の考えをまとめたり、発表したりすることができる。</p>	<p>・ペアやグループでの活動を活用し、生徒が自分の意見をまとめたり、表現したりする場を設ける。</p> <p>・発表資料の作成や意見の共有のために、タブレットなどのICTを適切に活用する。</p>			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○授業態度は真面目で、ほとんどの生徒が毎日の家庭学習に取り組むことができる。</p> <p>●自分の学習課題を的確に捉えることが苦手で、不得意な学習に対して、自分で計画を立てて克服することに課題がある。</p>	<p>・各教科の学習に主体的に取り組むことができる。</p> <p>・自分の学習状況を振り返り、自らの課題を解決できるよう計画を立て、実践することができる。</p>	<p>・何をどのように学ぶのが生徒に伝わるよう、授業のめあてを提示する。</p> <p>・振り返りのワークシートや小テストを用いて、生徒が自分自身の学習の到達度や課題を把握できるようにする。</p>			